

2015年度事業報告書

(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

特定非営利活動法人札幌チャレンジド

【特定非営利活動に係る事業】

1. 就労継続支援サービス（A型）事業

2015年度は、雇用契約者30名、非雇用契約者6名の合計36名が就労継続支援サービス利用者として仕事に従事した。

チャレンジドへの支払い総額

2015年度：28,246千円（前年比22%増）

2014年度：23,235千円	2013年度：17,695千円
2012年度：15,309千円	2011年度：17,744千円
2010年度：20,504千円	2009年度：17,915千円
2008年度：15,621千円	2007年度：10,577千円

チャレンジドの一人平均月額賃金（単純平均）

2015年度：75,930円（前年比9%増）

2014年度：69,358円	2013年度：60,189円
2012年度：52,610円	2011年度：55,975円
2010年度：55,269円	2009年度：55,295円
2008年度：51,319円	2007年度：39,175円

2015年度も、順調に受注業務が増加し、チャレンジドへの支払い総額は28,246千円と過去最高となった。前年比22%増と大幅な増加になったことはとても喜ばしいことである。これもひとえに札幌チャレンジドに業務を発注していただいている企業さまのおかげである。今後も企業の期待に応えられるように努力していきたい。

また、業務量の拡大に伴って、一人当たりの単純平均賃金も9%増え、約76,000円まで増加した。雇用保険の対象者の平均賃金は、約9万円となっており、多くのメンバーが、札幌チャレンジドの給与と障がい者年金で自立生活をしている。

札幌チャレンジドで永く勤めたいと希望するメンバーが増えており、次の目標は、札幌チャレンジドの給与だけで自立生活できる水準まで給与を増やしていくことである。そのためには、さらに付加価値の高い業務を受注していく必要がある。

【チャレンジドが従事する主な業務内容】

- ① 動画サイト監視業務
- ② 航空券情報データベース入力業務
- ③ イベント情報データベース入力業務
- ④ S E O 関連業務
- ⑤ リライト業務（原稿を必要な文字数で書き換える業務）
- ⑥ アンケートデータ入力業務
- ⑦ 商用イラスト作成業務
- ⑧ カタログ掲載商品のデータ入力・画像編集業務
- ⑨ ホームページ製作・更新業務
- ⑩ テープ起こし
- ⑪ パソコン講習講師など

2. 就労移行支援サービス事業

2015年度は、16名が就労移行支援サービスを利用し、5名が就職し、前年度（4名）と同程度の実績を維持した。

秋頃に就職が決まる人が多く、その後の利用者確保が大きな課題となっており、関係各所への訪問や、移行支援専用のパンフレットの作成などを行った。

2016年4月時点では、利用希望者が増え15名の年度スタートとなったことから札幌チャレンジドの移行支援の内容や実績が関係各所に浸透しつつある。

また、2015年度は、高校や大学との本格的な連携を始めた。高校からは実習生を受け入れ、4月からの利用へと結び付いた。大学とは、就職に困難を抱える発達障がい学生のインターンシップを受け入れ、やはり4月から札幌チャレンジドに通うこととなった。高校、大学や親からの札幌チャレンジドへの期待は大きく、その期待に応えられるように、しっかりと人材育成を行い、就職に結び付けていきたい。

就職後の定着率も高い水準で維持できており、就職後も定着できる人材育成の成果が現れていると考える。

（2016年度の定着支援体制加算の算定値）

6月以上12月未満の定着者の割合 定員の10%（まだ6月未満が4人）

12月以上24月未満の定着者の割合 定員の40%

24月以上36月未満の定着者の割合 定員の40%

引き続き、職場で戦力となれる人材育成を丁寧に行うことで、利用希望→就職→定着→新規の利用希望の好循環を生み出していきたい。

また、3月14日には、障がい者雇用に関する企業向けセミナーを開催した。参加者の関心は高く、年に二回程度、継続して開催していきたいと考える。

3. パソコン講習事業

(1) パソコン講習

自前のパソコン講習は、近年同様、受講者は年間数百人レベルに減少したが、講座の内容によっては、満員となる講座もあるので、受講ニーズが無くなっている訳ではない。

また、助成金事業で iPad を購入したので、2016年度からは、iPad 講習も取り入れて講習の幅を拡げていきたい。

(2) 札幌市障がい者 I Tサポートセンター事業（札幌市受託事業）

① パソコン講習会

札幌市身体障害者福祉センターにおいて、身体及び知的、視覚、聴覚、上下肢、盲ろう障害別に、32回の講習会を行った。

② パソコンボランティア派遣

2015年度の派遣回数は、433回であり、昨年同様、コンスタントに実施している。登録ボランティアも増えており、障がい者支援、障がい者理解に寄与する活動に成長している。

また、登録ボランティアの研修も充実させた。

③ 相談業務

電話、メール、来所・FAX 等で相談対応を行っている。I Tが普及した現代ではあるが、様々な相談が寄せられている。

4. 中期経営目標

2013年～2015年の中期経営計画を前倒しで見直し、新たに2015年から2017年の三年間で設定した。

① MIX COMの具現化

新たな価値観として唱えるMIXCOMを常に意識して、MIXCOM的発想から活動を広げていきます。

在宅就労の拡大、視覚障がい者の就職支援の開発、発達障がいのグレーゾーンの若者の支援などに重点的に取り組みます。

⇒ 日常会話にMIXCOMが出てきており、意識付けが生まれている。
札幌学院大学との連携を始めた。

② 就労継続支援A型事業の賃金総額の向上

就労継続支援A型事業（通所就労・在宅就労・パソコン講習）に従事するチャレンジの賃金総額を向上できるように、新たな事業領域の開発に注力します。
2017年度賃金総額3,200万円（2014年度比36%増）を目標とします。

⇒ 2015年度 2,824万円 2017年度目標比 88.3%

③ 就労継続支援A型メンバーの人財育成

メンバーの能力、体力、経験など各人のレベルに即した人財育成を行います。
働き続けたいくなる魅力的な職場となるように進化し続けます。

⇒ 一人ひとりの個性、得意を活かした業務分担（マッチング）を実施

④ 就労移行支援事業の安定運営の実現

毎年度、定員の40%以上の就職を実現します。
通年での利用者確保のために相談支援事業所やハローワーク等との連携を図ります。

⇒ 2015年度は5名が就職、定員の50%を達成

⑤ 職員の人財育成

社外研修の活用など職員の人財育成のための研修体系を構築します。
職員が自発的に自己啓発に取り組む環境を整えます。

⇒ 2015年5月に「職員人財補助規程」を制定し、自己啓発を推進

5. 助成金事業

(1) 共同募金助成（助成額 170 万円）

就労継続支援 A 型の就労分野の拡大や賃金向上、視覚障がい者の雇用の促進を図るために 11 台のパソコンを購入した。



(2) 年賀寄付金助成（助成額 171 万円）

タブレット端末の障がい者、高齢者への利用促進を図るため iPad 端末 13 台の購入、インストラクター研修会の開催、タブレット講習の開催等を実施した。



6. 総括

2015年度は、大きなトピックスが4つあった。

まず一つ目は、高校の教科書に札幌チャレンジドが掲載されたこと。「社会的企業」の事例として掲載されたのだが、誰も予想もしなかったことで、みな大きな喜びとなった。これもひとえに、札幌チャレンジドを支えてくださる企業、ボランティアさん、行政のお陰である。このことは、さらに社会的責任が増すことでもあり、持続可能な経営を行わなければならない。



二つ目は、札幌チャレンジド設立後、16年目の年であったが、収入が初めて1億円台となった。収入を増やすことを目的に活動してきた訳ではないが、社会に対して、1億円分の障がい者支援の新たな価値を創造できたと思うことができると思う。

NPOとして社会に貢献しながら事業規模が1億円台に到達したことは、大きな意義があると考える。

三つ目は、4月から就労移行支援用の事務所スペースを借り増しし、事業拡大を行ったこと。就職支援を拡大、安定して行えるように環境を整備した。新たな環境で学び、成長したメンバーが順次、就職を実現している。

四つ目は、1月から一年間の期間限定で、三角山放送局で「札チャレラジオ通信」の放送を開始したこと。MIX COM の実現に向けて情報発信が重要であるとの考えから、寄附を募って番組を始めた。ゲストとの会話を通して、札幌チャレンジドの活動内容や意義をしっかりと社会に伝えていきたい。

【NPO 法上のその他の事業】

本年度は実施せず。

以上